

調査日:2019年6月19日、7月18日、8月27日(9:00~12:00)

科名	種名	6月	7月	8月
カモ科	カルガモ	3	3	33
	コガモ		3	1
カイツブリ科	カイツブリ	16	22	32
ウ科	カワウ	80	274	177
サギ科	ゴイサギ			2
	アオサギ	3	5	14
	ダイサギ		3	28
	チュウサギ			13
	コサギ		1	3
クイナ科	オオバン	5	7	6
カモメ科	ユリカモメ			1
	コアジサシ		1	
ミサゴ科	ミサゴ		2	
タカ科	トビ	2		1
カワセミ科	カワセミ	3	2	3
カラス科	ハシボソガラス	2	4	4
セキレイ科	ハクセキレイ			1
11科	17種	114	327	319
外来種	コブハクチョウ	60	46	67



ハクセキレイ (6月)



サンバ (6月)



コアジサシ (7月)



コガモ (7月)



コブハクチョウ (8月)



ダイサギ (8月)

写真は調査区外で撮られたものもあります

あびこ鳥だより

Autumn
2019
【秋号】

ABIKO BIRD MUSEUM LETTER Vol.56



利用案内

- 開館時間 午前9時30分~午後4時30分
- 休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)、館内整理日、年末年始(12/29~1/4)

	区分	個人	団体
入館料 (当日有効)	一般	300円	240円
	高校生・大学生	200円	160円
3館共通入館料 (1か月有効)*	一般	600円	
	高校生・大学生	400円	

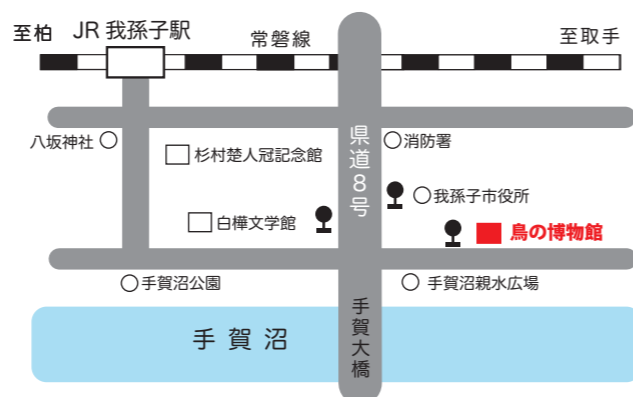
- ・入館料免除の方①70歳以上の方 ②障害者手帳等をお持ちの方(付き添い1名含む)
- ・中学生以下の方は入館無料
- *白樺文学館、杉村楚人記念館との共通券

●お問い合わせ:我孫子市鳥の博物館
〒270-1145 千葉県我孫子市高野山234-3
☎:04-7185-2212 FAX:04-7185-0639



交通案内

JR 我孫子駅南口バス停より市役所経由
バスで「市役所」下車、徒歩5分
*毎週土日祝日は博物館経由のバスが運行しています
我孫子駅南口バス停より、天王台行きバスで「鳥の博物館前」下車
天王台駅南口バス停より、我孫子駅行きバスで「鳥の博物館前」下車
自動車利用の方は地図をご覧ください(駐車場無料/大型バス駐車可)



【特集】

調べてみよう!フクロウのごはん

【最新情報】

ジャパンバードフェスティバル2019のお知らせ

表紙の鳥 アカコッコ

調べてみよう！フクロウのごはん

鳥類の食性を調べる方法の1つにペリットの分析があります。ペリットとは鳥が吐き出す未消化物です(写真1)。鳥は歯がないので食べ物は噛まずに丸呑みにします。その後、消化できなかった骨や毛などをまとめて吐き出します。ペリットを調べることで鳥が何を食べているのかを知ることができます。加えて、食べている餌動物から鳥の生息環境を推測したり、季節による餌動物の変化を知る手がかりになります。

ペリットは博物館や学校などで地域の環境や鳥の生態を学ぶ環境教育の素材として使われることがあります。鳥の博物館でも昨年の夏休みにフクロウのペリットを使ったイベント「調べてみよう！フクロウのごはん」を実施しました。フクロウのペリットを分解してどんな餌を食べているのか調べるイベントです(写真2、3)。フクロウの主な餌動物はネズミ類ですが、鳥類や爬虫類、昆虫なども食べます。餌動物はフクロウが生息する環境によって変化します。

イベントで調べたフクロウのペリットは取手市内の神社で2016年から2017年にかけて採集されたものでした。初めてペリットを見る参加者も多く、小さな骨が出てくるたびに、興味津々で鳥やネズミの骨格標本と比べながら、どの部位なのかを調べていました。頭骨やあごの骨(写真4)などが残っていると種が同定しやすいですが、中には砕けてどこかの部位か分からない骨しか含まれていないペリットもありました。砕けていても上腕骨や大腿骨(写真5)など、その動物の特徴が分かりやすい骨があると同定の手がかりになります。



写真1. フクロウのペリット



写真2. ペリットを分解する参加者



写真3. 分解したペリット



写真6. ハタネズミの標本



写真7. ハタネズミの骨格標本



写真4. ネズミ類の下あごの骨



写真5. ネズミ類の大腿骨の一部

調べた結果、参加者16人が分解したペリットのほとんどからハタネズミの骨が見つかりました。他にはアカネズミ、アズマモグラ、ムクドリ、スズメなどの骨がありました。ハタネズミは農耕地や河川敷に生息する日本固有の小型のネズミです(写真6、7)。ペリットを採集した場所の周辺は田んぼや畑が多く、大きな道路をこえると利根川の河川敷があるので、農耕地と河川敷のどちらの環境でもフクロウは餌をとることができると考えられました。

参加した小学生からは普段ネズミやモグラを見る機会は少ないけれど、実際に骨を調べてみると身近なものに感じられたという感想がありました。次回はペリットを採集した季節ごとに分けて比較したり、違う環境に生息するフクロウのペリットと比較したりすると、フクロウの食性をより詳しく知ることができるかもしれないと感じました。今後もペリットを使ったイベントを企画したいと思います。

今回のイベントで使ったペリットを提供して下さった「とりで鳥の会」の関根忠行さん、会の皆さん、ありがとうございました。

ジャパンバードフェスティバル 2019 が開催されます！

今年も毎年恒例のジャパンバードフェスティバル(略称:JBF)が11月2日(土)、3日(日・祝)に我孫子市で開催します。JBFは全国各地からたくさんの自然や野鳥の保護団体が参加し、鳥をテーマに楽しむイベントです。ミニライブやトークショー、鳥学講座、バードウォッチングツアー、双眼鏡やスコープの体験、野鳥撮影体験、スタンプラリー、写真展、バードカービング作品展、野鳥関連グッズの販売など様々な催しを企画しています。

鳥の博物館では鳥の工作とクイズのほか、講座を2つ企画しています。2日は日本固有の鳥が多く生息する南西諸島にスポットを当て、島の鳥類の特徴や研究のおもしろさなどをお話していただきます。3日は日本から多くのバードウォッチャーが訪れる台湾にスポットをあて、台湾の鳥の魅力と市民レベルでの台日の交流活動についてのお話していただきます。



鳥の博物館のイベント予定表

	日時	イベント	場所	定員(先着)
11月2日(土)	10:00~11:00	工作イベント「ハシビロコウの帽子をつくろう」	鳥の博物館	30名
	13:00~14:00	てがたん in JBF		15名
	14:00~15:30	鳥博クイズ(12:45~受付)		150名
11月3日(日・祝)	13:30~15:00(13:00開場)	鳥学講座「島の鳥類学—南西諸島の鳥をめぐる自然史—」 講師：高木昌興さん(北海道大学大学院理学研究院教授)、水田拓さん(山階鳥類研究所保全研究室室長)	アピスタ	120名
	10:00~11:00	工作イベント「ハシビロコウの帽子をつくろう」	鳥の博物館	30名
	10:30~11:30(10:00開場)	ゲストトーク「台田野鳥交流活動—海外野鳥観察旅行の新たな楽しみ方—」 ゲスト：林憲文さん(台湾鳥会会長)、間野吉幸さん(我孫子野鳥を守る会前会長)		50名
	13:00~14:00	てがたん in JBF(12:45~受付)		15名
14:30~15:30	鳥博クイズ	150名		

イベント情報

- 展示
 - 第84回企画展「世界からみた日本の鳥」
期間：7月13日(土)~11月24日(日)
場所：博物館2階企画展示室
 - 第85回企画展「友の会展」
期間：12月7日(土)~1月13日(月・祝)
場所：博物館2階企画展示室
- 講演・室内イベント
 - テーマトーク
日時：毎月第3土曜日 13:30~14:15
(11月のテーマトークはお休みです)
場所：博物館2階多目的ホール
定員：先着50人(参加無料)
講師：山階鳥類研究所員

- 自然観察会
 - てがたん~自然観察会~
日時：毎月第2土曜日 10:00~12:00(雨天中止)
11月のテーマ「モズのはやにえを探そう」
12月のテーマ「冬でも虫観察」
定員：なし
集合場所：博物館入口(予約不要)
 - あびこ自然観察隊③「夜の動物観察会」
日時：12月7日(土) 16:00~19:00 荒天中止
集合場所：利根川ゆうゆう公園駐車場
定員：20人(要電話予約・先着順)
申込み：11月16日より電話受付(鳥の博物館 04-7185-2212)

2019年11月~12月

自然観察会は高校生以上の方は保険料100円がかかります
館内で行うイベントは参加無料でも入館料が必要です